

三重県歯科医師会の取組

平成22年度における取組と評価

(健康づくり一般)

地域における歯科保健の推進を目的とした「地域8020運動推進協議会」を鈴鹿、津、松阪、南勢志摩、尾鷲、紀南、伊賀の7地区で計10回開催しました。

歯の衛生週間を通じて口腔の健康に関する啓発活動を行いました。

- ・母と子のよい歯のコンクール
- ・よい歯の児童生徒の審査並びに表彰
- ・歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール
- ・歯科医師会各支部が実施する歯の衛生週間事業並びに無料

健診・相談など

第15回三重県歯科保健大会(伊賀市)では80歳以上で20本以上歯を維持している方を対象にしたコンクールの優秀者を表彰しました。8020達成者の応募は364名に増加しました。

三重県の主催する「子育て応援わくわくフェスタ」などに協力し、多くの参加者に歯科保健の啓発を行いました。

児童・保護者・教職員等が口の健康について正しい知識をもち、適切な歯科保健行動を実践できるように「学校歯科保健指導」を15校の小学校で行いました。

6歳臼歯保護の観点から、フッ化物洗口の正しい知識と適切な実践方法を広く普及するために県内8施設、281名の幼児を対象にフッ化物洗口推進事業を行いました。また、県内小学新1年生にお口の健康手帳「歯のパスポート」を配布しました。

(生活習慣病予防)

- ・歯・口の健康と食生活の関連についての認識を深め、適切な食習慣の形成を進めるため食育推進会議を2回開催し、特別講演には97名が参加しました。

(介護予防対策)

高齢者の健康の維持・増進、健康寿命の延伸を目指し「介護予防」「口腔機能の向上」というテーマで歯科医師、介護関係者、行政らを対象とした研修会を3回開催し、計377名が受講しました。さらに実技習得の為、実践研修会を2回開催し、204名が受講しました。また口腔ケアに関する地域医療連携を確立するために口腔ケア対象患者の動向調査を行いました。

歯科医療連携のあり方について協議するため「病院歯科連絡調整会議」を開催しました。

(その他)

みえ歯 トネット運営協議会により障がい児(者)歯科保健医療の充実、QOLの向上を図りました。みえ歯 トネットの協力歯科医院は126ヶ所となり、研修会には120名が参加しました。障がい児(者)施設への歯科保健指導を6施設、112名に行いました。

学校歯科保健関係者を対象に「障がい児への歯科保健指導」等をテーマに講習会を開催し、110名が受講しました。

母と子の健全な口腔機能の維持の為に母子保健研修会を開催し、114名が受講しました。また妊産婦の健診受診啓発のためのリーフレットを作成し、母子手帳交付窓口に配布しました。

子どもが健やかに育つ環境づくりの為に、歯科治療が困難な状況になりやすい要保護児童に対し、北勢・中勢児童相談所にて年間20回の口腔内診査・歯科保健指導を行いました。

平成23年度における取組

(健康づくり一般)

地域における口腔保健の推進のために「地域8020運動推進協議会」を開催し、地域性を踏まえた保健対策の実現を目指します。

歯の衛生週間に関連して、歯・口腔の健康に関する各コンクールや無料健診・健康相談などを実施し、県民の口腔の健康づくりを推進します。

県民の方々の口腔の健康づくり意識の高揚のために第16回三重県歯科保健大会を開催します。

学校において効果的なう蝕対策を実現させるために、学校歯科医への研修会の開催や教育委員会、学校保健会と連携した学校歯科保健の推進を行っていきます。

(生活習慣病予防)

妊産婦への健診・歯科保健指導によって母親自身の生活習慣病予防と子どもの健全な口腔機能の維持に繋がります。

子どもたちが健全な食生活を実践できるように噛むことを通じた食育支援を行います。

全身疾患と関連の深い歯周病の予防を推進します。また個々の健康に関わる生活習慣や環境を改善し、歯周病はもとより、生活習慣病の予防を目指します。

(介護予防対策)

・住民に対する訪問歯科診療と口腔ケアによる介護予防事業が円滑に行われるよう他職種医療関係者と連携体制づくりを進めるとともに、人材育成のため研修会を開催します。

(その他)

みえ歯 トネットを通して障がい児(者)の歯科医療に対しての課題の解決を目指します。

要保護児童に対し、北勢・中勢児童相談所にて年間20回の口腔内診査・歯科保健指導を予定しています。また児童虐待に関する調査を行います。